

ベストマッチ[®] 越冬トマト454

14-5-14-Mg2

初期肥効抑制タイプ

越冬トマトの収穫期間中に必要な追肥分の肥料成分をトマトの生育に合わせて配合しました。元肥に1回施用するだけで、越冬トマトを安定して栽培できる専用肥料です。

N	窒素 (被覆)	2.8 Kg
P	りん酸(被覆)	1.0 Kg
K	加里 (被覆)	2.8 Kg
Mg	苦土 (被覆)	0.4 Kg

(1袋20kgあたり)

特長

1. 越冬トマト用に設計したオール被覆配合肥料です。

10～11月に定植し、6～7月まで収穫する長期栽培の越冬トマト用に、3種の被覆窒素肥料を配合して、収穫期に必要な窒素を供給します。

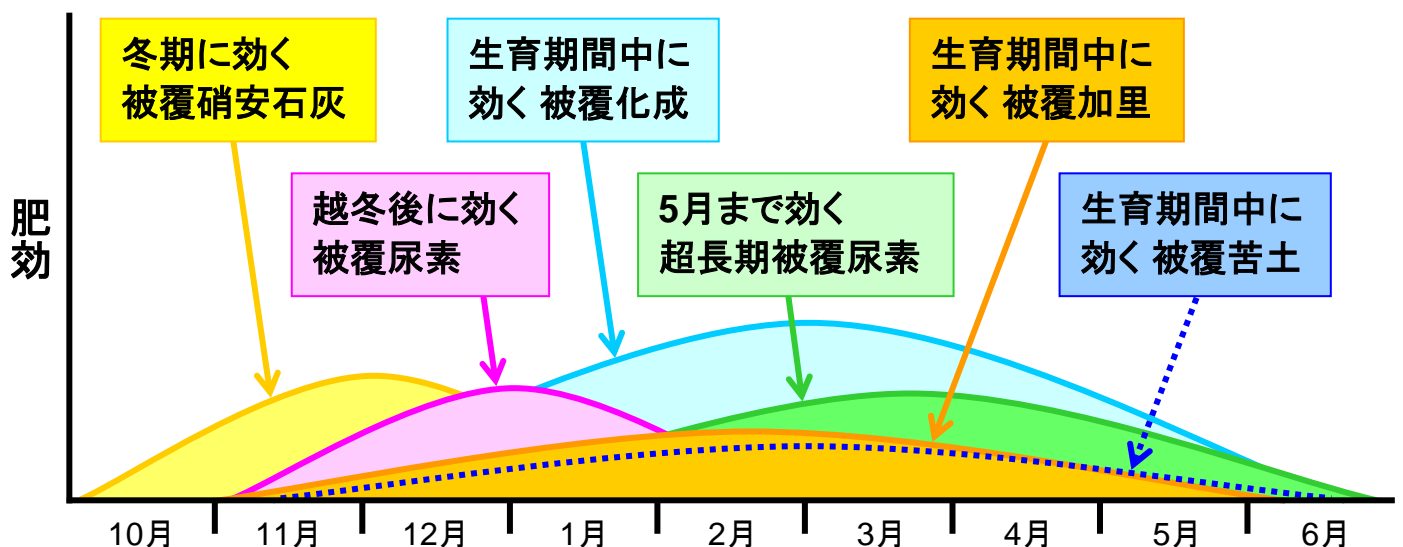
また、りん酸、加里、苦土についても被覆肥料として配合しています。

2. 越冬トマトに好適な肥効が持続します。

越冬トマトは初期の肥効は抑え目とし、気温が低くなる12月から2月にかけてじっくりと効かせ、その後収穫終了まで肥効が切れないことがポイントです。

越冬トマト454は被覆肥料から窒素、りん酸、加里、苦土がじっくりと溶出し、生育期間中トマトに適した肥効が持続します。生育ムラが少なくなり、安定多収を実現します。

ベストマッチ越冬トマト454の肥効イメージ(10月初旬施肥の場合)



施用量・施用方法

本肥料には元肥相当の速効性成分は含まれていません。施用量は追肥相当分であり、品種・土壌・地力により異なりますが、標準的な施用量は180～220kg/10a(窒素で25.2～30.8kg/10a)です。堆肥・石灰・りん資材等の土壌改良材を従来通り施用した後、有機化成肥料等の元肥と同時に全量混層で施用してください。